

## 第2次岸田内閣の発足について（会長談話）

本日、第2次岸田内閣が発足しました。

岸田総理大臣は、着実なワクチン接種をはじめとした感染症対策の加速と、成長と分配による経済の好循環による「新しい資本主義」の実現を表明されています。

指定都市市長会としては、喫緊の課題である医療体制の強化や戦略的なワクチンの供給などの感染症対策に迅速に対応するとともに、今後、策定される大規模な経済対策に、新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けた地域経済の再生に向けた強力な方策を盛り込み、速やかに実行していただくことを強く求めます。

また、我が国が直面する人口減少や東京一極集中、デジタル化社会に向けた迅速な対応、脱炭素社会への転換など、社会情勢の大きな変化から生じる課題に対し、市町村が連携し広域的に取り組むことが求められるなか、指定都市が中心的な役割を十分に果たすためには、多様な大都市制度の実現と大都市財政の実態に即応した地方財政制度の確立が必要となります。岸田総理には、地方の実情をよく知る指定都市の声を聴き、積極的に取り組んでいただくことを期待いたします。

指定都市市長会は、日本を牽引するエンジンとなり、引き続き国と緊密に連携し、先駆的かつ先導的役割を果たしてまいります。

令和3年11月10日

指定都市市長会会長

鈴木康友